

(2) 作溝法による簡易更新

場所：別海町

時期：平成16年8月下旬（1番草刈り取り後）

は種：チモシー 2.0kg + アルファルファ 0.5 kg = 2.5kg/10a

肥料及び土壌改良資材：BB122 40kg/10a、熔リン50kg/10a、ライムケーキ800kg/10a

6月下旬 1番草収穫



7月下旬 前植生枯殺処理 ※シバムギなどを十分に生育させてから枯殺(50cm以上)



8月上旬 枯殺処理から10日以上経て、十分に枯死した枯れ草を搬出 [図20]



8月下旬 ライムケーキ、熔リン施用
は種 [図21]、施肥 (BB122)



10月 スラリーを薄く散布 (掃除刈りは行わない)



図20 前植生を枯殺後、
枯れ草を搬出



図21 は種 (ハーバーマット)



図22 は種後35日の状況



図23 翌年8月の状況

* 他の事例より(図24・25)

土壌水分が多い、または機械の調整が悪いと、マットが捲れたり、刃に土が付着するなどして、うまく溝が切れないことがある



図24 ハーバーマット



図25 シードマチック



事例提供：雪印種苗